

|          |             |     |         |
|----------|-------------|-----|---------|
| 科目名      | 使用教科書・副教材等  | 単位数 | 学科・学年   |
| 「 建築構造 」 | 建築構造 (実教出版) | 2単位 | 建築科・1学年 |

### 1 学習の到達目標等

|         |  |
|---------|--|
| 学習の到達目標 | <p>1 建築物の構造について荷重に対する安全性や材料の特性を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>2 建築物の構造や建築材料に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>3 安全で安心な建築物の構造を実現する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> |
|---------|--|

### 2 学習計画等

| 学期   | 学 習 内 容  | 月  | 学 習 の ね ら い   | 考 査 |
|------|--|----|---|-----|
| 1 学期 | 1 建築構造のあらまし<br>(1) 建築構造の歴史的発達<br>(2) 建築物のなりたち<br>(3) 建築構造の分類<br>(4) 建築物にはたらく力<br>2 木構造<br>(1) 構造の特徴と構造形式<br>(2) 木材<br>(3) 木材の接合<br>(4) 基礎 (5) 軸組 | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>建築物はどのような部分からなりたっているか理解する。</li> <li>建築物に作用する外力の種類、外力により生じる力の種類を理解する。また、建築物に与える自然災害の影響について学習し、防災意識を高める。</li> </ul>  | 中間  |
|      |  | 5  |   |     |
|      |  | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>建築用木材の種類と特徴、木質材料の特性について理解する。</li> <li>接合部の継手と仕口を理解する。</li> <li>基礎を支える地盤の性質と基礎の役割や種類について理解する。</li> </ul>  | 期末  |
|      |  | 7  |   |     |
| 2 学期 | (5) 軸組<br>(6) 小屋組<br>(7) 床組<br>(8) 階段<br>(9) 外部仕上げ<br>(10) 内部仕上げ   | 8  | <ul style="list-style-type: none"> <li>軸組みの構成を学習する。また、耐震・耐風計画の方法を学習し、その必要性を理解する。</li> <li>屋根の形状の名称と小屋組の役割や種類を理解する。</li> </ul>   | 中間  |
|      |  | 9  |   |     |
|      |  | 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>床組の役割や種類を理解する。</li> <li>階段の役割や種類を理解する。</li> <li>各外部仕上げの構成を学習する。また、その仕上げ材料の特徴を学習し、適切な材料選択ができるようになる。</li> <li>各内部仕上げの構成を学習する。また、安全で快適な室内環境とするために、どのような性能を要求されるのか理解する。</li> </ul> | 期末  |
|      |  | 11 |   |     |
|      |  | 12 |   |     |
| 3 学期 | (11) 木造枠組壁構法<br>3 鉄筋コンクリート構造<br>4 鋼構造<br>5 合成構造  | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>木造枠組壁構法の特徴を理解する。</li> <li>各構造の特徴を理解する。</li> </ul>  | 学年末 |
|      |  | 2  |   |     |
|      |  | 3  |   |     |

### 3 評価規準及び評価方法

#### (1) 評価規準

|      | 知識・技術  | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|------|--|---|---|
| 評価規準 | 建築物の構造について荷重に対する安全性や材料の特性を踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 建築物の構造や建築材料に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。 | 安全で安心な建築物の構造を実現する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |

#### (2) 評価方法

|    | 知識・技術                               | 思考力・判断力・表現力                             | 主体的に学習に取り組む態度                                       |
|----|-------------------------------------|---|---|
| 方法 | 授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。 | 授業中の話し合いや発表、小テスト、定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。 | 授業中の取り組む態度や学習プリントのまとめ(記述)、生徒による自己評価や相互評価等で総合的に評価する。 |

### 4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

|  |
|--|
| 「建築構造」は、建築の基礎的な学習であるため、他の科目と関連が深いです。建築物の構成や部材、材料などについて学習します。その知識を画像や動画、現場見学などで確認すると理解が深まります。 |
|--|